

2024(令和 6)年度 学校関係者評価 報告書

【評価対象期間】

自:2023(令和 5)年4月 1日

至:2024(令和 6)年3月31日

学校法人大原学園
大原簿記情報ビジネス医療専門学校宇都宮校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員会の実施状況

(1) 実施日時・場所

日時：2024年8月9日(金) 13:00~14:30

場所：大原学園宇都宮校 4階 4C 教室

(2) 学校関係者評価委員

① 学外委員

氏名	団体企業名	役職等
野沢 恭久	宇都宮商工会議所	中小企業相談所長兼 経営支援部長
上崎 純一	栃木県東京事務所	所長
葛西 美奈子	株式会社 TMC 経営支援センター	代表取締役社長
石川 裕司	栃木いすゞ自動車株式会社	次長
内藤 靖	株式会社テラクリエーション	管理本部人事総務部 部長
廣瀬 恵美	佐野厚生農業協同組合連合会 佐野厚生総合病院	医事課係長
小林 峰之	株式会社ビッグツリー	執行役 営業本部 営業推進部長
古川 佳弘	自衛隊栃木地方協力本部	宇都宮募集案内所 所長
持田 大士	アティスインターナショナルアカデミー	校長補佐
手塚 壹子	セブンイレブン宇都宮駅東口店	オーナー
菅野 乃碧	西尾レントオール株式会社 東京支店 (卒業生)	—
丸山 遥己	株式会社ネットコア (卒業生)	—
手塚 未歩	獨協医科大学 (卒業生)	—
手島 海人	パーソナルトレーナー (卒業生)	—
中村 春樹	栃木県公立小中学校事務 (卒業生)	—

② 学内委員(事務局)

氏名	団体企業名	役職等
高橋 研	大原学園 宇都宮校	校長
菊地 透	大原学園 宇都宮校	顧問
小林 昭彦	大原学園 宇都宮校	教務部 次長
篠崎 宣之	大原学園 宇都宮校	教務部 課長代理
上岡 正太	大原学園 宇都宮校	教務部 課長補佐

③ 配布資料

- ・2023（令和5）年度 自己点検・評価報告書
- ・学校関係者評価委員会 会議資料

(3) 議題内容

2023年度の自己点検・評価報告書を基準に、特に提言頂きたい重点項目を「基準4：学修成果」「基準5：学生支援」「基準6：教育環境」「基準10：社会貢献・地域貢献」とし、学校関係者評価委員へ事前に伝達した上で開催された。

2. 学校関係者評価委員会からの評価結果報告

(1) 基準1 教育理念・目標・育成人材像

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
理念・目的・ 育成人材像	1-1-1 理念・目的・育成人材像は定め有れているか	定めている
	1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	80%
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	80%
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構造を抱いているか	80%

② 委員からの提言

- 先生方の指導が反映されていると実感できるが、社会に出ても通用する情報収集能力、課題解決能力を養っていただきたい。

(2) 基準2 学校運営

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
運営方針	2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか	定めている
事業計画	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	定めている
運営組織	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	90%
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	90%
人事・給与制度	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	80%
意思決定システム	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	90%
情報システム	2-7-1 情報システム化に取り組み業務の効率化を図っているか	80%

② 委員からの提言

- 委員からの意見なし。

(3) 基準3 教育活動

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
目標の設定	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	定めている
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育達成レベルを明確にしているか	明確にしている
教育方法・評価等	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	80%
	3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか	70%
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか	70%
	3-9-4 授業評価を実施しているか	70%
成績評価・単位認定等	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	80%
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	70%
資格・免許の取得の指導體制	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	80%
	3-11-2 資格・免許取得の指導體制はあるか	80%
教員・教員組織	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	50%
	3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	70%
	3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	80%

② 委員からの提言

- 教員の資質向上のために、職員自身のスキルアップも必要である。
- 学生の価値観の変化もあるため、無理のない程度に個々に応じた教育を提供するのも必要である。

(4) 基準4 学修成果

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
就職率	4-13-1 就職率の向上が図られているか	70%
資格・免許の取得率	4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	60%
卒業生の社会的評価	4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	60%

② 委員からの提言

- 栃木県は少子高齢化だけではなく、人口流出が多くなってきている。そのため、引き続き地域活性化を意識した県内就職にも力を入れていただきたい。
- 資格取得ではないが、パーソナルトレーナー業界は技術（指導技術、トレーナー技術）が大切なので、それらを中心とした講義でも良い。

(5) 基準5 学生支援

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
就職等進路	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	90%
中途退学への対応	5-17-1 退学率の低減が図られているか	60%
学生相談	5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	60%
	5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	60%
学生生活	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	80%
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	整備 できている
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	70%
	5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	70%
保護者等との連携	5-20-1 保護者等との連携体制を構築しているか	60%
卒業生・社会人	5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	70%
	5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	60%
	5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	60%

② 委員からの提言

- 一度退社された方を再雇用するキャリア採用にシフトチェンジしている企業も多い。そのため、最近の若者は転職への抵抗がなく離職率も高いため、学校でしっかりと働きながらキャリアアップまで見据えた指導ができると良い。
- 宇都宮校内だけで対面で実施できると企業説明会があっても良い。
- 留学生は経済格差や日本へのイメージギャップから辞めてしまう方も多。曖昧な表現では伝わらないことも多いため、入学前から学費などを明確に伝えて対応すると良い。
- 中途退学防止への取り組みとして三者面談の実施をしても良いと考える。

(6) 基準6 教育環境

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
施設・設備等	6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	80%
学外実習、インターンシップ等	6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	60%
防災・安全管理	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し適切に運用しているか	70%
	6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	70%

② 委員からの提言

- 就職活動に関して1対1で先生方からサポートしていただける環境は継続してほしい。
- 先生方は様々な企業を知っているため、きめ細やかな支援はありがたかった。
- 自ら相談できない学生こそ、多くの悩みを抱えているため、職員から声掛けしてあげてほしい。

(7) 基準7 学生の募集と受入れ

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
学生募集活動	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	70%
	7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	80%
入学選考	7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	80%
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	50%
学納金	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	算定している
	7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	行っている

② 委員からの提言

- 委員からの意見なし。

(8) 基準8 財務

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
財務基盤	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	安定している
	8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	行っている
予算・収支計画	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	策定している
	8-29-2 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	行っている
監査	8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	実施している
財務情報の公開	8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	70%

② 委員からの提言

委員からの意見なし。

(9) 基準9 法令等の厳守

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
関係法令、設置基準等の遵守	9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	90%
個人情報保護	9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	80%
学校評価	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	行っている
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか	公表している
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価をしているか	行っている
	9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	公表している
教育情報の公開	9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	70%

② 委員からの提言

委員からの意見なし。

(10) 基準 10 社会貢献・地域貢献

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
社会貢献・地域貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	70%
	10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	30%
ボランティア活動	10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	80%

② 委員からの提言

- 地域のお祭り等のイベントがコロナ禍でイベントが中止してもどうにか乗り越えられたことで、参加しなくても良いという考えが広がってしまった。いかに地方創生を考えて学ばせて、社会に目を向けさせることが必要。これを学校として実施して頂けるとありがたい。郷土愛に気付ける機会が多くあると良いと思う。

(11) 総評

大原学園宇都宮校2校の「自己点検・評価報告書」について検証を行った結果、全般的に良好な結果であった。

学校運営は、意思決定システムが確立されており、円滑な運営、教育理念に基づいた運営方針も明確に定められ、教育理念を達成するための事業計画の策定、各種研修制度が確立され、有為な人材育成を行うことができていると考える。学生指導においては、教員の資質や指導力によって、学生の退学率などに繋がるため、日頃からの学生とのコミュニケーションや、教員の指導力向上に努めていただきたい。さらに、今後の就職活動や、地域との関係性を深めるためにも、ボランティア活動を活性化させ、学生の経験にもなるよう努め、社会に必要とされる人材を世の中に輩出できるよう、育成に取り組んでいただきたい。

以上